

窓口支援事例 【千葉県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

有限会社ローズハートインターナショナル

所在地	千葉県佐倉市		
ホームページ URL	http://www.roseheart-ec.com		
設立年	1989年	業種	その他
従業員数	3名	資本金	300万円

企業概要

当社は、色と形だけではなく機能を重視したデザインワークを心がけています。「なぜ必要なのか。なぜそうあるべきか。その為にはどうあるべきか。」と段階的にデザインを構築し、デザインの中に潜むより良い機能を引き出す事が商品価値を向上させる魅力になると考えています。さまざまな分野でのデザインで培った経験をベースに、モノへの理解力と表現力を軸としたデザインワークで様々な事業へ協力させていただきます。



自社の強み

使う人の視線に立ったプランとそれを実現するデザイン力です。デザインする為に必要な条件を検証することで、製品にかかるコストと商品価値が共存すると考えています。アイデア出しから製品出荷まで、全て責任をもってする事を常に心がけています。ご依頼頂いた方々の予算や希望を考慮しながら喜んで頂けるデザインを制作すること。当社はこのデザインプロセスを大事にし、具体的に分かりやすいサンプルを提案しながら1つ1つ作業を進めて行きます。



一押し商品

折り畳み式で自立型のポップアップ式神棚神社です。日本の文化である神棚を、観光地の神社仏閣で身近に揃えられる事を考えました。シンプルで簡単にセットでき、ストッパーによりしっかり自立する構造です。お神札を大切にお祀りする気軽な祭壇として、日本文化の新たな親しみ方を育てる神棚神社です。また、神社仏閣に訪れる外国人観光客にもお神札を受けてお祀りする事を分かりやすく解説し、国産の環境配慮紙を使い軽量薄型のギフト仕様になりました。

商標登録 第 5985727 号

意匠登録 第 1583546 号 祭壇置物

意匠登録 第 1583547 号 神棚



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は創業以来、各種のデザイン制作を業とされて来ましたが、年々増加する外国人観光客が日本文化、中でも神社仏閣に非常に興味を持つことに着目され、日本土産として「紙製ポップアップ式神社」の製品化を企画されました。その開発過程で製品の意匠登録出願をしたい、との相談がありました。

最初の相談概要

相談を受け、まず、J-PlatPat を使った先行意匠調査を支援すると共に、調査結果の検討には専門家派遣を活用していただき、弁理士からの助言を受けられました。その後、同社は意匠登録出願を行い、意匠権取得に至りました。

その後の相談概要

製品化検討を続けられる過程で、販売前に商標権も取得しておきたい、との相談があり、先行商標調査を支援すると共に、専門家（弁理士）からの助言も行き、その後商標を出願され、商標権も取得されました。

窓口を活用して変わったところ

当初は意匠登録出願に関する相談で来訪されましたが、窓口担当者及び弁理士を交えた検討の過程で、商品として販売するためには商標権取得も重要な手段であるとの気付きがあり、窓口を活用することで知的財産権に関する認識が大いに深まったとのことでした。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財総合支援窓口に相談したことで、不慣れな領域であっても専門職の方々の適切なアドバイスにより確実に成果を見いだせる事ができました。意欲的な案件を送り出したい意思があっても、どこから始めれば良いのか？どこに適應する場所を見いだせば良いのか？を把握するだけで一杯になってしまいます。知財総合支援窓口は全てについて把握する必要は無く、十分な仕事と経験を積んだ担当者が物事の長所と短所を見極め、目標の方向を導き出してくれます。

窓口担当者から一言（氏名：坂元 祥郎）



支援開始後、所望の意匠権を取得されると共に、商品化直前には商標の重要性にも気付かれ商標権も取得されました。外国人観光客の日本文化に対する関心に着目され、主たる業務であるデザイン業から一歩踏み出した製品に事業を展開された企画力に敬服すると共に、今後とも同社をご支援していきたいと考えています。

窓口支援事例 【千葉県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

有限会社ローズハートインターナショナル

所在地	千葉県佐倉市		
ホームページ URL	http://www.roseheart-ec.com		
設立年	1989年	業種	その他
従業員数	3名	資本金	300万円

企業概要

当社は、色と形だけではなく機能を重視したデザインワークを心がけています。「なぜ必要なのか。なぜそうあるべきか。その為にはどうあるべきか。」と段階的にデザインを構築し、デザインの中に潜むより良い機能を引き出す事が商品価値を向上させる魅力になると考えています。さまざまな分野でのデザインで培った経験をベースに、モノへの理解力と表現力を軸としたデザインワークで様々な事業へ協力させていただきます。



自社の強み

使う人の視線に立ったプランとそれを実現するデザイン力です。デザインする為に必要な条件を検証することで、製品にかかるコストと商品価値が共存すると考えています。アイデア出しから製品出荷まで、全て責任をもってする事を常に心がけています。ご依頼頂いた方々の予算や希望を考慮しながら喜んで頂けるデザインを制作すること。当社はこのデザインプロセスを大事にし、具体的に分かりやすいサンプルを提案しながら1つ1つ作業を進めて行きます。



一押し商品

折り畳み式で自立型のポップアップ式神棚神社です。日本の文化である神棚を、観光地の神社仏閣で身近に揃えられる事を考えました。シンプルで簡単にセットでき、ストッパーによりしっかり自立する構造です。お神札を大切にお祀りする気軽な祭壇として、日本文化の新たな親しみ方を育てる神棚神社です。また、神社仏閣を訪れる外国人観光客にもお神札を受けてお祀りする事を分かりやすく解説し、国産の環境配慮紙を使い軽量薄型のギフト仕様になりました。

商標登録 第 5985727 号

意匠登録 第 1583546 号 祭壇置物

意匠登録 第 1583547 号 神棚



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は創業以来、各種のデザイン制作を業とされて来ましたが、年々増加する外国人観光客が日本文化、中でも神社仏閣に非常に興味を持つことに着目され、日本土産として「紙製ポップアップ式神社」の製品化を企画されました。その開発過程で製品の意匠登録出願をしたい、との相談がありました。

最初の相談概要

相談を受け、先ず、J-PlatPat を使った先行意匠調査を支援すると共に、調査結果の検討には専門家派遣を活用していただき、弁理士からの助言を受けられました。その後、同社は意匠登録出願を行い、意匠権取得に至りました。

その後の相談概要

製品化検討を続けられる過程で、販売前に商標権も取得しておきたい、との相談があり、先行商標調査を支援すると共に、専門家（弁理士）からの助言も行い、その後商標を出願され、商標権も取得されました。

窓口を活用して変わったところ

当初は意匠登録出願に関する相談で来訪されましたが、窓口担当者及び弁理士を交えた検討の過程で、商品として販売するためには商標権取得も重要な手段であるとの気づきがあり、窓口を活用することで知的財産権に関する認識が大いに深まったとのことでした。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財総合支援窓口に相談したことで、不慣れな領域であっても専門職の方々の適切なアドバイスにより確実に成果を見いだせる事ができました。意欲的な案件を送り出したい意思があっても、どこから始めれば良いのか？どこに適応する場所を見いだせば良いのか？を把握するだけで一杯になってしまいます。知財総合支援窓口は全てについて把握する必要は無く、十分な仕事と経験を積んだ担当者が物事の長所と短所を見極め、目標の方向を導き出してくれます。

窓口担当者から一言（氏名：坂元 祥郎）



支援開始後、所望の意匠権を取得されると共に、商品化直前には商標の重要性にも気付かれ商標権も取得されました。外国人観光客の日本文化に対する関心に着目され、主たる業務であるデザイン業から一歩踏み出した製品に事業を展開された企画力に敬服すると共に、今後とも同社をご支援していきたいと考えています。